



—こんな理由で賛成・反対しました—

3月23日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。下記にその概要を掲載いたします。

●令和2年度能美市一般会計予算

新年度予算では、企業に対しては、法人税割の税率を引き下げ、減収となった分は、国からの法人事業税交付金で補填し、企業が行うふるさと納税は、寄附額の9割も還元するという手厚いものになっている。その一方で、公衆入浴サービスは、課税世帯に対し、一回100円を徴収する。また、いきいき安心助成制度も廃止するなど、充実していたと言われる能美市の高齢者福祉は、削りに削って、他の自治体と比べても秀でた制度は何もない状況である。以上のことから、この予算に反対する。

反対

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

賛成

開道 昌信
議員

新年度予算は、能美市を取り巻く情勢を鑑み、市民主体の「市民力・地域力」を活かした福祉活動を資金面で支援する「のみ地域力強化支援ファンド」の創設、特定不妊治療への助成の上限枠の拡充や、コミュニティバスのダイヤ見直しと観光ルートの新設、屈折はしご付き消防ポンプ車の整備をはじめ、各重点施策に多くの新規・拡充の事業を種々網羅された「創意と工夫を凝らした」予算となっている。これはまさに、「現地現場主義」「市民ファースト」を掲げる市長の姿勢、「したいこと、能美市だったら叶うかも」のキャッチコピーとともに能美市の魅力を県内外に広く発信できる予算として、ここに賛同の意を示すものである。

●選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める国への意見書採択についての請願

夫婦同姓を強制する制度は明治時代の「家制度」によってつくられ、戦後新しい憲法のもとで、改正されるべきものが、改正されないまま現在に至っている。国連からも勧告を受けるような、人権的には極めて後進性の強い制度である。「選択制夫婦別姓制度」は、日本が個々の多様性を尊重する社会を実現するために、欠かせない制度である。私たち日本共産党は民主主義の新たな前進を心から願い、本請願に賛成するものである。

賛成

佐伯 富美子
議員
(日本共産党)

賛否が分かれた議案

○=賛成、●=反対、議長は採決に加わりません。

議案名	山下毅	卯野修三	佐伯富美子	北村周士	仙台謙三	山本悟	田中大佐久	田中策次郎	開道昌信	嵐昭夫	南山修一	居村清二	倉元正順	米田敏勝	東正幸	近藤啓子	杉田隆一
能美市債権管理条例の制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
能美市営住宅条例の一部を改正する条例について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
財産の処分について (市有地売却について(湯谷町乙88番1ほか6筆))	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
令和2年度能美市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
令和2年度能美市介護保険特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
令和2年度能美市水道事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
令和2年度能美市工業用水道事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
令和元年度能美市一般会計補正予算(第4号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
令和元年度能美市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度能美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度能美市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める国への意見書採択についての請願	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●
国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●
能美市議会議員定数条例の制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
能美市議会議員定数条例の制定についてに対する修正案	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。